

業 務 説 明 資 料

1 業務件名

横浜音祭り 2022 (仮称) 広報関連業務委託

2 業務の実施方針

横浜アーツフェスティバル実行委員会（以下、「実行委員会」という。）が主催する「横浜音祭り」は3年に一度、横浜で開催されるオールジャンルの音楽フェスティバルで、令和4年秋に第4回が開催される。

前回「横浜音祭り 2019」には、460 のプログラムに、出演者・観覧者含め延べ 296 万人が参加した。横浜市内全域が音楽に溢れ、多くの人々にとって「音との新たな出会い」のきっかけとなるような、日本最大級の音楽祭となった。

本業務では、横浜市民及び来街者を対象に、音楽フェスティバル「横浜音祭り 2022 (仮称)」(【別紙 1】「横浜音祭り 2022 (仮称)開催概要」参照) への認知・興味・関心を向上させ、来場者を増やすような、効果的な広報を実施する。

(1) 認知・興味・関心の向上

広くフェスティバルを広報することで認知・興味・関心の向上を図る。

(参考：横浜音祭り 2019 メディア露出件数 6,466 件／広告価値換算額 17 億 9,771 万円)

(2) 来場者の動員

各種メディアへ取材・掲載を促すアプローチを行い、露出を獲得することで、フェスティバルへの来場を促す。

3 履行期間

令和4年4月1日（金）から令和4年12月27日（火）まで

4 履行場所

実行委員会が指定する場所

5 前提条件

広報業務のうち、実行委員会が担うものは次のとおり。

(1) 総合的な広報計画の立案

(2) フェスティバルディレクターとの連絡・調整

(3) 広報展開を行う素材（公演情報、出演者等素材、ビジュアルデザイン、ロゴ等）の制作、提供

(4) 海外広報窓口及び海外広報計画の実施

(5) 交通広告・屋外広告

(6) 主要広報制作物（ポスター、チラシ等）の版下作成及び印刷

(7) フェスティバルの主催者・共催者の保持媒体を使用した PR

(8) 公式ウェブサイト・SNS の制作及び運営

- (9) 市政記者への記者発表
- (10) 記者会見の会場手配、会場費用及び付帯設備費用負担
- (11) フェスティバルに関するメディア露出の広告価値換算（クリッピング業務含む）
- (12) 取材アテンド

6 業務内容

(1) 計画

「2 業務の実施方針」に沿って、時期・ターゲットに応じた効果的・効率的なメディアアプローチの全体計画を作成する（【別紙2】「広報スケジュール及び委託範囲」参照）。

フェスティバルの詳細については、提案資格確認結果の通知後、提案資格を満たす全ての事業者に送付する「開催内容説明資料」を参照すること。

なお、メディアアプローチの内容・時期は、費用対効果を考慮し、効果的・効率的なものとするため、絞り込んだ計画とすることを可能とする。

(2) 国内メディアへのアプローチ及び露出プロモーション

ア メディアへの取材誘致を行い、露出を図る。

なお、音楽専門誌や音楽系ウェブサイトなどへのペイドパブは原則として費用負担も含め実行委員会が行う。

WEB、SNS の利用に特化したデジタルプロモーション（SNS 広告・キャンペーン等）については別途業務委託を予定しているため、本提案内容には含めないこと。

<アプローチ先希望>

- ① 首都圏キー局を中心としたテレビ（特にエンタメ番組・情報番組・旅バラエティ系の特集）
- ② ライフスタイル雑誌
- ③ 音楽、芸術を専門とするメディア（ラジオ、雑誌等）
- ④ ソーシャルインクルージョン、社会福祉、次世代育成、子育て世代に強みをもつメディア

イ 記者発表内容やイベント情報等のニュース配信（記者発表は約 40 回程度を想定）

※記者発表資料は実行委員会にて作成する。

(3) 記者会見の実施・運営

記者会見の準備及び実施・運営を行う（【別紙3】「開催概要発表記者会見企画書」参照）。

【実施予定】

日時：令和4年4月27日（水）午後（一時間程度の予定）

会場：「スパイラルホール」〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23

内容：実行委員長挨拶、名誉委員長挨拶、協賛企業紹介、ディレクターによる事業紹介、出演者によるパフォーマンス、フォトセッション等

【会場備品】

長机 10 台（W1800×H700×D600）、長机 4 台（W1500×H700×D500）、

椅子 400 脚（W485×D500）、受付カウンター 6 台（W1400×H900×D500）

【実行委員会で用意（負担）するもの】

配布用の記者発表資料、司会者、バックパネル（W2980×H2250×D290）、会場使用料、照明・音響・舞台に係る技術スタッフ費用、追加の会場付帯設備費用

※会場の下見、調整、必要機材の確認は受託者が実行委員会と共に行うこと。

ア 案内状の発送

※メディア発送リストは、実行委員会の所有するメディアリスト（約 500 件）に別途協議の上、受託者の所有するメディアリストの一部を追加し、完成させる。

※案内状の発送方法は、別途協議の上、決定する（原則 E メール、FAX、郵送など形式を問わない）。

イ 出欠連絡・問合せ窓口業務

※案内状発送後のメディアへの取材誘致、出席リストの作成・管理を含む。

ウ 運営マニュアル・進行台本の作成

エ 会場担当者と事前打合せを行い、必要な付帯設備について検討すること

オ ステージの設置、および映像投影

※登壇・パフォーマンスが出来るステージを設置する。ステージ上には、映像投影（投影サイズ 150 インチ想定）とバックパネル（実行委員会にて手配）を設置予定。映像投影に係る必要機材（プロジェクター、PC）を会場担当者に確認し、準備すること。会場付帯設備が利用できる場合、費用は実行委員会にて負担する。

カ 運営・進行管理、受付、資料配布、誘導、楽屋ケータリング等の当日実施運營業務全般

キ 文房具、その他備品等、実施運営に必要なと思われる備品の準備

ク 当日、スタッフはトランシーバーを用いてコミュニケーションを取ること

※実行委員会従事者用にも 8 台準備すること。

(4) 報告

ア メディア露出に関するアプローチ進捗状況、掲載状況および計画について、実行委員会との打合せを実施すること。週または隔週に 1 回の定例を想定しているが、実施頻度やメールでの報告とするか否か等は別途協議の上、進める。

イ 事業完了後に、実績（広告等は掲載の状況がわかる画像を含む）及び効果、分析、評価、その他実施業務に関する報告書を作成すること。

ウ その他トラブル等、実行委員会への報告が必要と思われる事案が発生した際には、速やかに連絡の上、経過・経緯・対応策等をまとめた報告書を提出すること。

7 成果品について

(1) 提出物

ア 実施計画書（電子データ）

イ 完了報告書（電子データ）

(2) 提出場所

横浜アーツフェスティバル実行委員会（横浜市文化観光局文化プログラム推進課内）

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 30階

電話 045-671-3503 / FAX 045-663-1928 / E-MAIL bk-music@city.yokohama.jp

8 留意事項

- (1) 本業務の実施に際しては、実行委員会と十分な協議を行いながら進めることとし、本業務説明資料に記載のない事項及び疑義のある場合は、別途協議の上決定するものとする。
- (2) 本業務の検討内容及び進行状況等について、実行委員会が報告等を求めた場合、特段の理由なくこれを拒んではならない。また、実行委員会が公表している又は実行委員会が認めた情報以外の情報を第三者に漏らしてはならない。
- (3) 本業務の全部を第三者に委任し、又は請け負わせることは認めない。また、委託業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ実行委員会の承諾を得なければならない。
- (4) 本業務の実施のために創作した著作物に係る使用権及び著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第21条から第28条までに規定する権利をいう）は、写真・イラスト等を含め、全て実行委員会に帰属し、受託者はその成果を自ら利用し、又は第三者に帰属してはならない。また、実行委員会が二次利用を含めて、これを自由に使用できるものとする。これにより受託者に生じた、いかなる損害についても実行委員会は責任を負わないものとする。

9 その他

本フェスティバルは、令和4年度横浜市各会計予算が横浜市会において議決されることを停止条件とする事業のため、予算の議決がなされないときは、事業として成立しない。

また、令和4年度事業計画と予算案が横浜アーツフェスティバル実行委員会において承認されることも停止条件とする事業のため、承認がなされないときは、事業として成立しない。

【業務説明資料・別紙1】

横浜音祭り2022（仮称） 開催概要

横浜市は、「文化芸術創造都市」として、現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ」、ダンスフェスティバル「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA」、音楽フェスティバル「横浜音祭り」といった横浜らしい特色のある芸術フェスティバルを毎年順番に開催し、街に賑わいを創出している。

令和4年は、4回目となる音楽フェスティバル「横浜音祭り2022（仮称）※」を開催予定である。

※令和4年度予算が横浜市会において議決された後、フェスティバル名が確定します。提案にあたっては、「横浜音祭り2022」をご使用ください。

本音楽フェスティバルの開催概要は以下のとおり。

(1) 名 称

横浜音祭り2022（仮称）

（読み方：ヨコハマオトマツリ ニセンニジュウニ）（2022は全角文字使用のこと）

(2) 実施期間

令和4年9月17日（土）から11月6日（日）（予定）※

※4月下旬情報解禁（予定）。

(3) 会 場

横浜市内全域

(4) ジャンル

クラシック、ジャズ、ポップス、日本伝統音楽などオールジャンル

(5) コンセプト

ア 横浜の「街」そのものが舞台

ホールでの公演だけでなく、市内に広がる横浜らしい景観などを活かした横浜ならではのプログラムを展開する。

イ クリエイティブ・インクルージョン

国籍・人種・世代・性別・障害等を超えてあらゆる人が参加することを目指す。

ウ クリエイティブ・チルドレン

アーティスト派遣などによる学校へ出張授業やワークショップなどを通じて、横浜の未来を担う子どもたちの豊かな創造性や感性を育む。

エ 国際発信

横浜から海外に向けて、本フェスティバルに関連するコンテンツを発信する。

(6) 主要プログラム（案）

ア 横浜音祭りライブ・ホップ！（オープニング企画）ほか有料公演

オープニング企画は、市内の複数のライブハウスが同時発生的に公演を行う「横浜音祭りライブ・ホップ!」。ポストコロナ時代に向けて横浜の音楽シーンを盛り上げる。その他トップアーティストの有料公演を行う。

イ 街に広がる音プロジェクト

ホール内に留まらず、商業施設・駅前広場など横浜ならではのオープンスペースでコンサートを開催し賑わいを創出。アマチュアからプロまでアーティストが、様々なジャンルの音を奏で、街を音楽で染め上げる。

ウ 横浜 18 区コンサート

横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞者や横浜みなとみらいホールの推薦演奏者による 18 区の区民文化センターなどを会場としたコンサート。音楽の魅力を身近な会場で触れていただく機会として、人気と実力を併せ持つ若手演奏家が、コンサートを開催。

エ 18 区展開事業

期間中に市内文化施設や区民祭り等において、各区と連携し、それぞれの特色を生かした音楽イベントを開催し盛り上げる。

オ 既存イベントとの連携

ヨコハマ・ポップス・オーケストラ等、既存イベントと連携する。

※参考：横浜音祭り 2019 実績

開催期間	2019 年 9 月 15 日（日）～11 月 15 日（金）
会 場	横浜市内全域
プログラム数	460 プログラム（うち主催 92、共催 99、パートナー269）
総来場者数	約 296 万人
URL	https://yokooto.jp/
事業報告書	https://yokooto.jp/book/index.html

横浜音祭り2022(仮称) 広報スケジュール及び委託範囲

※期間・内容については目安のため、提案内容により変更の可能性あり

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		☆4/27 開催概要発表記者会見	☆5月中旬市民先行チケット 発売	☆6月中下旬一般チケット発売			9/17 開幕-----	-----	-----11/6 閉幕
			券売	券売	券売	券売・開催周知	券売・開幕の盛り上げ ・参加促進	参加促進	参加促進 ・フィナーレの盛り上げ
記者会見	実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 案内状発送(関係者) メディア誘致 会場確保 記者発表資料作成 							
	受託者	<ul style="list-style-type: none"> 案内状発送(メディア) メディア誘致 会場調整 出欠・問合せ窓口 記者会見運営・進行全般 							
広報物	実行委員会		<ul style="list-style-type: none"> 公式リーフレット配布開始 各公演チラシ配布開始 	<ul style="list-style-type: none"> ポスター掲出開始 			<ul style="list-style-type: none"> 公式ガイドブック配布開始 		
グッズ	委託者	<ul style="list-style-type: none"> 販促用ポリバッグ配布開始 							
広告	実行委員会			<ul style="list-style-type: none"> 専門媒体(雑誌・WEB)広告 		<ul style="list-style-type: none"> 専門媒体(WEB)広告 	<ul style="list-style-type: none"> 交通広告(市内) 屋外広告(協賛関係) 専門媒体(雑誌・WEB)広告 	<ul style="list-style-type: none"> 専門媒体(WEB)広告 	
WEB・SNS	実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 公式WEB、SNS本格運用 		<ul style="list-style-type: none"> SNS広告 	<ul style="list-style-type: none"> SNSキャンペーン等 	<ul style="list-style-type: none"> SNS広告 			
その他全般	受託者	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> メディアアプローチ：記者発表 </div>					<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> メディアアプローチ：開幕前～クロージング </div>		
		<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> パブリシティ活動(ニュース配信等) </div>							

【業務説明資料・別紙3】

横浜音祭り2022（仮称） 開催概要発表記者会見 企画書

◆開催概要発表記者会見（午前中に市長定例会見実施予定）

日 程：令和4年4月27日（火）

時 間：午後（一時間程度の予定）

会 場：スパイラルホール（東京都港区南青山 5-6-23）

想定来場者数：150名

内 容（想定）

- (1) 実行委員長挨拶【登壇】
- (2) 名誉委員長（横浜市長）挨拶【登壇】
- (3) 協賛企業紹介【登壇またはスライド紹介】
- (4) ディレクター（新井鷗子氏）による事業紹介【登壇】
- (5) 出演者によるパフォーマンス
- (6) 主要事業出演者紹介【登壇】・ビデオメッセージ
- (7) フォトセッション

登壇者：実行委員長、名誉委員長、協賛企業、ディレクター、出演者

配付物：

- (1) 記者発表資料
- (2) チラシ（主要公演／パートナー事業）
- (3) ノベルティグッズ（ポリバッグ／クリアファイル）



Photo：大野隆介



Photo：大野隆介

<参考：横浜音祭り2019開催概要発表記者会見>
フォトセッション

<参考：Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018
開催概要発表記者会見>
東京ゲゲゲイによるパフォーマンス